



「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days



**2019年度東海大学付属推薦制度**  
**特別奨励入学・特別技能推薦・特別学力推薦・付属推薦による**  
**378名の推薦候補者決定、おめでとう**  
**剣道部 白澤智也君 インターハイ出場決定!!**



「特別奨励入学制度」で推薦候補者に選ばれた皆さん

2018年6月8日(金)に2019年度東海大学付属推薦制度を利用した特別奨励入学推薦候補者の発表があり、今年度は39名の生徒が推薦候補者になりました。特別奨励入学制度は、高校1、2年次の学業成績の平均が7.5点以上かつ高校3年次の学園基礎学力定着度試験の学園順位が350番以内の生徒が対象になります。つまり、普段からしっかりと学習に取り組んでいる生徒が選出されることとなります。

特別奨励入学の候補者に対しては、9月下旬から実施される東海大学の後期授業に「科目等履修生」として参加できる

「体験留学」と呼ばれる制度があります。これにより、自分の進学予定先の学部・学科の授業を体験して、早期に自分の夢を実現する力を養うことができます。さらに、11月26日(月)の付属推薦合格者発表が行われると、正式に特別奨励入学候補者に決定して25万円分の学業奨学金が付与されます。

高校1、2年生の皆さんも、ぜひ特別奨励入学を目指して頑張ってください。

以下に、第1回目の特別奨励入学候補者となった39名の皆さんを紹介します。

特別奨励入学候補者氏名(五十音順)

- |       |       |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 阿部 翔  | 石村 玲奈 | 采女 琳香 | 及川 咲希 | 太田 龍宏 | 大友ひなの | 大野 拓真 |
| 上堀 有紀 | 岸 伶香  | 木村 友香 | 京増 有紀 | 熊谷 萌香 | 桑山 拓海 | 河野 鷹通 |
| 小高 亮太 | 坂口 芽依 | 佐藤 駿  | 篠田 賢  | 渋谷 琉夏 | 清水 友規 | 城地 直輝 |
| 住谷 祥花 | 高橋 凌真 | 宝田 拓紀 | 田爪 愛里 | 田村 悠人 | 角田 義樹 | 都丸 優也 |
| 中村 元紀 | 中村 沙紀 | 中村 結衣 | 早川 元氣 | 平林 恵美 | 松本 萌子 | 峰岸 紗希 |
| 峰岸 真希 | 安田 大翔 | 山田 翔大 | 若尾 恵実 |       |       |       |

# 2019年度 東海大学付属推薦制度 特別奨励入学・特別技能推薦・特別学力推薦・付属推薦による 378名の推薦候補者決定

2018年6月8日(金)に2019年度東海大学付属推薦制度による推薦候補者の発表がありました。本号の表紙で紹介したように、特別奨励入学候補者として決定した39名以外にも、特別技能推薦で6名、特別学力推薦で259名、付属推薦で74名の合計378名の生徒が推薦候補者として発表されました。

推薦候補者となった生徒は、今後7月7日(土)または8日(日)を中心に実施される推薦候補者説明会に参加するとともに、各学科からの課題、インターネット環境を利用した『スタディサプリ』などをすべてやり遂げていくことで、大学への入学準備が万全となります。

この後、11月26日(月)の合格発表まで油断せず学習を継続してください。

なお、芸術学科、医学部医学科、看護学科、医療技術短期大学看護学科、航空操縦学専攻を希望する生徒につきましては、適性審査を経て推薦候補者が決定しますので、今回は第2希望(第3希望)の学科の推薦候補者として発表されています。適性審査の結果発表については、9月号の『飛躍』にて掲載予定です。

## 特別奨励入学推薦候補者

進学予定先	学科別人数(名)
文学部英語文化コミュニケーション学科	2
文化社会学部文芸創作学科	1
文化社会学部心理・社会学科	2
政治経済学部経営学科	1
教養学部人間環境学科社会環境課程	1
教養学部国際学科	5
体育学部生涯スポーツ学科	4
体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科	1
健康学部健康マネジメント学科	2
理学部情報数理学科	1

進学予定先	学科別人数(名)
工学部生命化学科	3
工学部光・画像工学科	1
工学部建築学科	3
工学部航空宇宙学科航空宇宙学専攻	2
工学部医用生体工学科	3
観光学部観光学科	3
情報通信学部情報メディア学科	1
情報通信学部通信ネットワーク工学科	1
ハワイ東海インターナショナルカレッジ	2

## 特別技能推薦候補者

進学予定先	学科別人数(名)
政治経済学部経済学科	1
体育学部競技スポーツ学科	1
体育学部生涯スポーツ学科	1

進学予定先	学科別人数(名)
体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科	1
健康学部健康マネジメント学科	1
国際文化学部地域創造学科	1

## 特別学力推薦候補者

進学予定先	学科別人数(名)
文学部歴史学科日本史専攻	1
文学部歴史学科西洋史専攻	1
文学部日本文学科	4
文学部英語文化コミュニケーション学科	3
文化社会学部ヨーロッパ・アメリカ学科	8
文化社会学部北欧学科	1
文化社会学部広報メディア学科	15
文化社会学部心理・社会学科	12
政治経済学部政治学科	5
政治経済学部経済学科	10
政治経済学部経営学科	17
教養学部人間環境学科自然環境課程	2
教養学部人間環境学科社会環境課程	8
教養学部国際学科	6
体育学部体育学科	4
体育学部競技スポーツ学科	2

進学予定先	学科別人数(名)
体育学部生涯スポーツ学科	10
体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科	1
健康学部健康マネジメント学科	19
理学部数学科	3
理学部情報数理学科	4
理学部物理学科	2
情報理工学部情報科学科	2
情報理工学部コンピュータ応用工学科	1
工学部生命化学科	4
工学部応用化学科	2
工学部光・画像工学科	1
工学部電気電子工学科	4
工学部材料科学科	1
工学部建築学科	25
工学部土木工学科	7
工学部機械工学科	2

## 特別学力推薦候補者

進学予定先	学科別人数(名)
工学部動力機械工学科	3
工学部航空宇宙学科航空宇宙学専攻	5
工学部医用生体工学科	2
観光学部観光学科	26
情報通信学部情報メディア学科	6
情報通信学部組込みソフトウェア工学科	4
情報通信学部経営システム工学科	3
情報通信学部通信ネットワーク工学科	4
海洋学部環境社会学科	1

## 付属推薦候補者

進学予定先	学科別人数(名)
文学部文明学科	1
文学部歴史学科考古学専攻	1
文学部日本文学科	1
文化社会学部アジア学科	9
文化社会学部ヨーロッパ・アメリカ学科	3
文化社会学部北欧学科	3
文化社会学部文芸創作学科	4
政治経済学部政治学科	5
法学部法律学科	13
教養学部人間環境学科自然環境課程	4
教養学部人間環境学科社会環境課程	3
理学部化学科	1
情報理工学部コンピュータ応用工学科	1
工学部生命化学科	1
工学部光・画像工学科	2

進学予定先	学科別人数(名)
海洋学部海洋地球科学科	1
海洋学部水産学科生物生産学専攻	4
海洋学部海洋生物学科	6
基盤工学部医療福祉工学科	1
農学部応用動物科学科	1
国際文化学部地域創造学科	1
短期大学部児童教育学科	3
ハワイ東海インターナショナルカレッジ	1

進学予定先	学科別人数(名)
工学部電気電子工学科	1
工学部土木工学科	1
工学部機械工学科	1
工学部動力機械工学科	3
情報通信学部通信ネットワーク工学科	1
海洋学部環境社会学科	2
海洋学部水産学科生物生産学専攻	1
海洋学部水産学科食品科学専攻	1
経営学部経営学科	2
国際文化学部地域創造学科	2
国際文化学部国際コミュニケーション学科	1
国際文化学部デザイン文化学科	2
短期大学部児童教育学科	1
ハワイ東海インターナショナルカレッジ	3

## 学園オリンピック1次試験・審査合格者発表

2018年度東海大学学園オリンピック文化部門1次試験・審査[芸術(音楽)部門を除く]に、学園の高等学校・中等部から今年度も多数の応募がありました。本校の高等学校・中等部からは各部門に延べ32名の生徒が応募しました。

1次試験・審査の結果が発表され、17名の生徒諸君が見事2次審査に進むことになりました。合格者は7月31日(火)～8月5日(日)に群馬県にある東海大学孺恋高原研修センターで行われる夏季セミナーに参加します。部門ごとに東海大学や高校の先生方の指導のもとで、創作活動やフィールドワーク等のアクティビティに励み、その成果によって各部門の優秀賞が選ばれます。



国語部門		数学部門	理科部門
石橋あつか (1年10組)	小野友里有 (3年3組)	大橋 瞳子 (2年10組)	深川 真規 (1年10組)
沖野彩里菜 (2年10組)	小出 亜実 (3年10組)		石川伸之介 (2年10組)
小出 菜央 (3年1組)	田村 悠人 (3年10組)		関口 菜央 (2年10組)
英語部門	芸術(造形)部門	知的財産部門	ディベート部門
伊原 佐都 (1年5組)	平賀 雄也 (3年A組)	庄司 馨 (3年1組)	宮林 智加 (1年10組)
木村 飛洋 (2年10組)	関 龍翔 (2年10組)		望月 理沙 (2年1組)

合格おめでとう! 孺恋の夏季セミナーで頑張ってください!



## 国際ビジネスコミュニケーション協会から表彰

本校では2008年度からTOEIC Bridge® Testを導入し、CALLの授業を基盤に受験の機会を設けてきました。高校入学から卒業までに合計5回受験の機会が用意されていることから、昨年度までで合計20,000を超える受験を支援してきたことになります。この取り組みが人々の英語力の伸長を図り、将来のグローバルリーダーの育成と国際化社会への進出を大きくサポートしてきたと認められ、このたび、一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会から表彰を受けました。



## オンライン英会話教室を始めました



次期学習指導要領では「外国語によるコミュニケーション能力」のさらなる向上がうたわれ、英語の4技能をバランス良く高めることが求められています。大学入試や大学の英語教育もそれに合わせてコミュニケーション力を重視する内容にシフトしていきます。東海大学でも学園をあげて4技能を強化する方針です。そこで本校では、特に「聞く」「話す」のトレーニングを集中して行うために、希望者を対象にオンライン英会話教室(運営:スクールTOMAS 有料)を開始いたしました。

### 受講者の声

中等部 3年B組 平野 敬大

僕がオンライン英会話を申し込んだ理由は、来年2月に研修旅行で行くオーストラリアでたくさんの友達を作って、その友達といっぱい話をしたいからです。なぜなら、一生つきあえるような友達を作り、長く交流したいからです。はじめて講師の先生とコンピュータ越しに話をしたとき、すべて英語なのでわからない単語があると会話が止まってしまうので、難しいと感じました。しかし、その都度、講師の先生がホワイトボードに書いて、意味と発音を教えてくださいました。自分にとって本当にわからないところを教えてください、学ぶことができるので、オンライン英会話を受講することができてよかったです。

高校 3年10組 篠田 賢

私はマンツーマンでレッスンを受けられ、自分の英語のレベルに合わせてレッスンを進められることに魅力を感じ、オンライン英会話を受講したいと思いました。また、私の選んだコースでは理系用語を用いたレッスンが行われるので、SSHの活動で英語で発表する際に役立てたいです。

まだ本格的な内容は始まっていませんが、ネイティブの先生とのレッスンを通して、細かい発音の違いや英語を話す楽しさを知りたいと思います。

## SSH活動報告

### Thailand-Japan Student Science Fair 2018(6月7日~9日/ピッサヌローク)ほか、タイ王国での国際交流

3年SSHクラスの生徒2名が6月3日から13日までタイ王国を訪れ、科学を通じた若者の国際交流を目的としたタイ王国教育省主催、文部科学省後援のイベントに参加しました。また本校と科学研究を通じた相互交流に関する覚書を交わしている、プリンセス・チュラポー・サイエンス・ハイスクール・トラン校ならびにパヤオ大学附属高等学校を訪問してきました。



### International exchange through science 3年10組 佐藤 駿

I went to Thailand for ten days. As a representative of my school, I did some activities to build friendships at Trang and Phayao, and participated in the science fair. It was held from June 7th to 9th at Phitsanulok. I did an oral and poster presentation there, of course in English. Also, I presented to the princess. It was only for two minutes, but it was a special experience for me, and also I could learn about Thai manners. On the other days, I went on field trips about traditional Thai medicine. I made a medicine called Ya-hom and learned about Thai massages. I've never done any of these activities before. Through this trip, what I've learned about the most is the difference between the cultures. Thai culture surprised me many times. In Thailand, buying from food stands for meals is normal, so there are many stands along the streets. It's unbelievable, isn't it? I had been interested in the cultures of other countries, so it was exciting for me. This trip made me think about what I want to be in the future.

※お詫びと訂正 先月号のSSH活動報告「ハノイの塔」文中に表記上の誤りがありました。お詫び申し上げます、以下のとおり訂正いたします。  
【誤】2n-1 → 【正】2<sup>n</sup>-1

## 2018年度学校運営方針

5月号に掲載した「2018年度学校運営方針」実践目標について今月も紹介します。学校の取り組みや行事の様子など、本校HPに紹介していますのでご覧ください。

### 2018年度の「実践目標」

#### 「教科の学習」だけでなく、「教科外活動」を積極的に取りこませることによって、より豊かな人間性を育てる

本校ではさまざまな教科外活動を行っています。高校1年生では、茶室で茶道入門、和室の使い方やお茶の点て方を学んでいます。憲法記念講演では「子どもの人権」について弁護士さんのお話を聞きました。中等部1年生では、お辞儀の仕方などを「マナー講座」で学び、中高新入生は、薬物乱用防止・携帯安全教室・痴漢防止講習なども受けています。また、高校生の課外活動、中等部のキャリア教育や校外学習など、普段の授業では学べないことも体験しています。今後も学校だからこそ体験できることを提供していきたいと考えています。



〈HR茶道〉

〈キャリア教育〉

#### 基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、自立心を育てる環境を整える

来校された方々から、本校生徒の挨拶にはお褒めの言葉をいただいております。挨拶は毎日の生活を送る上で大切な要素の一つです。他にも、身だしなみや言動、電車や通学路でのマナー、遅刻をしないなど、基本的な生活習慣といわれることはたくさんあります。人として大切なことを身につけさせていきたいと思いますので、ご家庭でもご協力の程よろしく願います。





# 部・同好会活動報告

柔道部

## 関東大会出場

### 男子 6年連続関東大会出場!!

3年1組 佐々木 大也

柔道部は6月1日から東京武道館で行われた関東大会に男女ともに出場しました。今年の目標としては、昨年の関東大会で先輩方の残したベスト16という記録を超えることを目標に試合に臨みました。1回戦目に山梨県の甲府工業高校と対戦しました。チームとしては、2、3回戦で対戦する高校のことまで意識して対策を立てていましたが、結果は初戦敗退となってしまいました。先の試合のことを考え過ぎて、自分たちの実力を過信してしまったのが敗因だと思います。3年生にとっては最後の関東大会になりましたが、残り少ない試合を少しでも良い結果が残せるよう頑張りたいと思います。今後も応援をよろしくお願いいたします。



### 女子 関東大会 第5位!!

女子主将 3年3組 森下 都雲

6月1日から3日にかけて、東京武道館で開催された関東高等学校柔道大会に参加しました。初戦で群馬県代表の常磐高校とあたり、厳しい戦いでしたが、最後に逆転し勝つことができました。そしてチームワークを駆使し、是



が非でも絶対に勝つという強い気持ちで挑み、ベスト8(第5位)まで進出することができました。この結果は、ご指導してくださっている先生方はもちろん、応援してくださっている保護者の方々、友達、毎日一緒に練習に励み、雰囲気を作ってくれているチームメイトのおかげだと思います。たくさんの方々への感謝を忘れず、日々の練習を頑張っていきます。これからも応援をよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

剣道部

## 関東大会出場

### 男子 男子15年ぶりの関東大会!!

3年1組 山本 恭平

男子剣道部にとって、今回の関東大会個人戦出場は15年ぶりになりました。種田先生が本校に着任して3年目となり、ようやく日頃の成果を結果として残すことができたのはとても嬉しく思います。この一年は私たちにとって高校生活最後の年であるため、関東大会出場の想いは強く、日々厳しい稽古に耐え、仲間と切磋琢磨してきました。関東大会では残念ながら初戦敗退でしたが(対戦相手の土浦日本大学高校:小松崎選手は準優勝)、先生方、仲間のおかげで最後まで全力で戦い抜くことができました。種田先生の指導はとてもしっかりものですが、その指導の一つ一つが私を関東大会に導いてくれました。また、仲間は良きライバルであり、かけがえのない存在です。後輩たちには、先生の教えを守り、仲間を大切にして、今後もより良い結果を残してほしいと思います。応援ありがとうございました。



### 女子 新たなる伝統への第一歩!!

女子主将 3年2組 富田 珠里南

昨年に続き、2年連続で関東大会に出場することができました。昨年は出場したことに満足し、また初めての大会で緊張し、後悔しか残らないものでした。しかし、今年度は出場することはもちろん、決勝トーナメント進出という目標を掲げ、厳しい練習を重ねました。

私が入学した時点では、女子部員が5人という団体戦ギリギリの人数から、たくさんの仲間が加わり切磋琢磨してきました。「チームの力を信じ、全員で勝利を目指す」、この言葉を胸に大会に臨みました。予選リーグでは栃木県代表 小山高校に1-1の引き分け。2回戦では埼玉県代表 星野高校に3-2で勝利し、取得本数差で小山高校に競



り勝ち、決勝トーナメントに進出しました。決勝トーナメントでは神奈川県代表 桐蔭学園と対戦し、善戦しましたが敗退しました。関東大会ベスト16、この結果は、たくさんの応援や支えがあったおかげです。応援ありがとうございました。今後は「全国制覇」を目標に、全員でさらなる上を目指し、日々の稽古はもちろんのこと、学校生活も改めて気を引き締めて頑張ります。さらに良い結果が報告できるよう、高輪台高校剣道部は成長していきます。今後も応援をよろしくお願いいたします。



# 学年だより 中1

5月22日(火)・23日(水)に中学校生活初めての定期試験(中間テスト)がありました。一週間前から部活動も休みとなり、真剣に勉強に取り組んでいました。結果を振り返り、期末に生かしてください。

また、5月24日(木)は「スポーツ大会(午前)・キャリア教育(午後)」、5月25日(金)には「校外活動」があり、さまざまな体験ができました。

## 「歴史」という川の流れ

A組 中石 燎

僕は時間という船に乗って、歴史という川を下り始めました。

まずは、川の上流である江戸時代から下り始めます。江戸の町並みは、長屋という隣の家屋同士がつながっている住居が並んでいて、商人なども出入りしていました。そして江戸時代には人々の娯楽となるものがありました。それは歌舞伎です。歌舞伎は現代でも人気のある芝居です。どんな時代にも人々に受け入れられるということは庶民の心を大切にしてきた証だと思えます。

次に、下流に当たる明治時代です。明治は西洋の文化が日本に入ってくる文明開化が起こり、制度などが大きく変化した時代でした。その一つは食です。このころからすき焼きなど肉を食べるようになりました。他にもあんパンなどが人気でした。服装も西洋のシルクハットや洋服などに変化していきます。そしてだんだんと現代の文化にたどり着きます。

歴史を下ってきて、日本は変化を続ける独自の文化を持ってきた素晴らしい誇れる国であることを知りました。僕は船を下りました。

## 江戸東京博物館で学んだこと

B組 鈴木 真帆

朝、友達と車で待ち合わせをしてから、集合場所へ向かいました。そして、長く続くエスカレーターに乗り、博物館に入りました。その後、班に分かれて博物館の中を探索しました。館内は和やかで、江戸時代にタイムスリップしたような感じでした。そして江戸時代のさまざまな文化を学びました。それは今と比べると全く異なる文化でした。次はお昼ご飯。友達と楽しみながらお弁当を食べました。お昼が終わったら、両国を散策しました。庭園の池にはカメがいました。みんなで散策を満喫して楽しむことができました。

私は今回の江戸東京博物館を通して、江戸の時代の雰囲気や江戸時代についてより詳しく知ることができたのでよかったです。

## スポーツ大会

ドッジボール、シュート合戦、大縄跳び、綱引きをして盛り上がりました。



## キャリア教育

「全国銀行協会」から講師をお招きし、銀行の仕組みを学び、班ごとにマネープランゲームを楽しみました。



## 校外活動

両国にある「江戸東京博物館」を見学し、昼食後に「旧安田庭園」を散策し、横網町公園内にある「東京都復興記念館」を見学しました。



# 学年だより 中2

## 日本科学未来館へ

去年は「江戸」。今年は「未来」。向かった先は高校のSSHクラスでも訪れる「日本科学未来館」。難しい内容もコミュニケーターさんの面白い説明や体験コーナーによって、楽しみながら学んでいました。普段の生活では触れることの少ない話を聞き、珍しい体験もして、とても充実した1日だったようです。

### A組 岩田 果歩

今回の校外学習を通して、いろいろなものは科学の力を利用していることに気づいた。いろいろなことに自ら体験し、学ぶことでさらに興味が沸いた。次回の校外学習からでなく、日頃の授業も積極的に参加しいろいろなことを学びたいと思った。

### B組 井上 真菜

私は2つの未来を思考する方法を学びました。現状を把握して目の前の課題を解決していく「積み上げ思考」と、理想の未来から逆算して今やるべきことを発想する「未来逆算思考」です。2つをうまく使い分けられることが大切だということを校外学習で学びました。これは、勉強も同じだと感じました。後回しにすると後に「先に勉強しておくべきだった」と後悔する時があったからです。後悔や失敗が起きる前に、先に考えて行動を起こすことが大切だと感じました。

### B組 江頭 一華

私はユーティリティキューブというものに興味を持った。ユーティリティキューブとは小型の空調機だ。普段私たちの身の周りには空調機はとて大きい。ユーティリティキューブはとてとても小さかった。空調機を小型にするにはどのようなことをやったのか、どうして小型にできたのか、その経過が気になった。インターネットなどで調べて、「興味を持った」だけで終わらせないようにしたいと思った。

### A組 芳賀 一樹

「オトナロイド」という人型のロボットが話すときの表現力がとても素敵で印象に残っています。この先、ロボットがどのようなところで活用されていくのか楽しみです。僕もロボットに負けないように、スポーツと勉強を毎日頑張っていきたいです。

### A組 山中 隼斗

僕が日本科学未来館で興味を持ったのは、iPS細胞についてでした。なぜかという、最近まで理科の授業でやっていた範囲ですし、人間も細胞からできているのでとても興味を持つことができました。中でも一番印象に残っているのは、豚の細胞についてです。豚の細胞を使って生活をするということに非常に興味を惹かれました。

### B組 内田 皓

僕は科学を初めて知りました。最初は全く興味がなく科学とは何かも知りませんでした。ですが未来館に行き、コンピュータの中はどうなっているのか、ユーティリティキューブとは何かなど、僕が初めて知ることばかりでどんどん興味を持ちました。今回未来館に行ってきたことは、「興味がないことにもチャレンジしてみれば楽しくなる」です。これからは、いろいろなことにチャレンジしていきたいと思います。



スポーツ大会の様子(5月24日(木)アリーナにて)





# 学年だより 中3

## キャリア教育

中間試験が終わった5月24日の午後、3年生はJASRAC（一般社団法人日本音楽著作権協会）の方にご講演いただきました。身近な音楽と著作権について学びました。



### A組 田中 碧人

一番驚いたことは、ほとんどの曲の著作権を管理しているということです。自分は吹奏楽部に所属していますが、講演のあと譜面を見てみると、片隅に「JASRAC」と書いてあり感動しました。

### B組 南 俊介

「歌ってみた」という動画では、勝手にその曲を使うと著作権にふれることを初めて知りました。また、楽譜をコピーすることにも許可が必要だということに驚きました。

### A組 山田 凜

曲の著作権は、その歌手ではなく、作詞作曲をした人にあるということがわかりました。有名な歌手や曲を出してもらったり、クイズがあったり、とても良い雰囲気楽しくわかりやすい講演でした。

### B組 山田 貴大

著作権についてはなんとなくは知っていたけど、JASRACという専門の組織があることは知りませんでした。一番驚いたことは、自作の鼻歌にも著作権があるということです。

## 校外学習

5月25日に実施された校外学習では、豊洲にある「ガスの科学館 がすてな〜に」を訪れました。ガスやエネルギーに関する疑問を職員の方に質問するなど、環境問題に真剣に取り組めた1日になりました。

### A組 荒牧 治希

今回の校外学習では、燃料や資源の大切さを深く学ぶことができました。意外なところでさまざまな燃料が使われていることに驚きました。

### B組 馬籠 慶一

自分が一番面白いと思った場所はLNG船の模型です。最近の大型船はコンピュータ化が進み、乗組員が10〜20人いれば足りるそうです。ビル9階分の高さがある大きな船なのに、燃料をあまり使わないことに驚きました。

### A組 高橋 宗太郎

今回の校外学習では、ガスだけでなく電気や石油などのエネルギーのことも学びました。これからもエネルギー問題や火力発電による地球温暖化などが問題になると思います。僕もエネルギーや地球の環境問題などを学び、将来、人の役に立てるようにしたいです。

### B組 山平 敦士

今まで家で使われているエネルギーや、それを生み出している物のことは全然知りませんでした。今回の校外学習で、エネルギーに関わる機械や人のことをじっくり学ぶことができました。



# 学年だより 高1

## 東海大学湘南校舎見学

5月8日の校外活動では、東海大学湘南校舎（神奈川県平塚市）を訪れました。普通クラスは広いキャンパス内を散策しながらクイズに挑戦し、SSHクラスは研究施設の見学をしました。

### 1組 前田 稀理

私たちは初めての校外学習で東海大学湘南キャンパスを訪れました。湘南キャンパスはとても広いと聞いていましたが、実際に行ってみて、その広さと自然の豊かさを実感しました。見学では、東海大学の先生方や高輪台出身の学生の方がいろいろ説明をしてくれました。また、実際にキャンパス内を歩いたり、学食を利用したりもしました。そこで、学生の皆さんが素晴らしい設備と環境の中で、本当に充実した大学生活を送ることができていると感じました。

僕は高校生になったばかりで、大学などまだ先のことだと思っていましたが、今回の見学によって大学生活をより身近に感じるようになりました。僕も先輩たちのような充実した大学生活を送れるようになるために、高校での学習や部活動に、今まで以上に力を注いでいこうと思いました。

### 3組 春木 理甫

湘南校舎見学会では、中等部の時とは少し違った体験をすることができました。中等部の時は水泳実習で何度か訪れたことはあるのですが、歩いてキャンパス内を回るといことがなかったので新しい体験をすることができ、とても嬉しかったです。あらためてキャンパスを見学してみると、たくさんの食堂があり、そこで食事をしている人や、競技場でスポーツをしている人もいて、大学生はそれぞれが自由に行動をして過ごしているんだと思いました。

まだ1年生ですが、第一希望の学部に入り、湘南校舎で充実した学校生活が送れるように、これから勉強をして頑張っていきたいと思います。

### 5組 本多 姫奈

初めて東海大学のキャンパスに行き、学部の多さとキャンパスの広さに驚きを感じました。実際に通っている学生の話が聞くことができたり、キャンパスについての問題を探るために歩き回ったりという、他の高校では体験することができないことを味わうことができました。

今回の見学会で得たものを高校生活で生かしながら、大学付属の高校に入学できたからこそ、好きなことを見つけるための時間として、この3年間を有意義なものにしたいと思っています。

### 10組 廣田 雅音

SSHクラスで学ぶ私たちは、湘南校舎で特別講座を受講しました。校舎見学では高度物性評価施設に行き、大学の研究室に実際に入れていただきました。電子顕微鏡やとても小さなものの質量を測定する機械など、大学でしか見ることのできない貴重な実験器具を見たり、体験したりすることができました。

特別講座では、新校舎で大学の先生が授業をしてくださいました。私は大学の授業という、難しくわかりにくいものだと思っていましたが、身近な理科の謎について、グループで体感しながらわかりやすく説明してくださり、いつの間にか、のめりこんでしまうほど楽しい授業でした。

今回の湘南校舎見学は、一足早く大学の雰囲気を味わえ、とても充実した時間を過ごすことができました。





# 学年だより 高2

高校2年生の生活がスタートしてから3カ月が過ぎ、先月のスポーツ大会を経て、各クラスのメンバーの結びつきも強くなってきました。今回は、学年目標と各クラスの目標を、学年委員長さんと級長さんに教えてもらいました。

## 学年目標 「百花繚乱」

学年委員長 1組 豊田 隼

学年目標は、百花繚乱です。この学年では、一人ひとりが自分の個性を生かし、楽しみながらメリハリある充実した学校生活を送れるようにしたいと思います。それぞれの人が意識して最高の学年を作っていきたいと思っています。

### 1組 No.1 only 1

副級長 平井 稜真

2年1組は、級長の豊田隼君を中心とする、とても仲の良いクラスです。この目標のNo.1という意味は、何事に対しても他のクラスより全力で取り組むことという意味で、only1はクラスの一人ひとりの考えなどを主張していこうということで、この目標にしました。

### 2組 常昇気流

級長 鈴木 直人

僕たち2組のクラス目標には、常に良い方向へ進めるようにという意味があります。また、気流を良い方向へ動かすためにもクラスの雰囲気全員で作るという意味もあります。クラス全員で常昇気流に乗り、2組のパワーを存分に発揮していけるクラスにしていきたいです。

### 3組 2の3か条 学力向上・全力投球・笑顔満載 ～クラス全員の笑顔が絶えないクラス～

級長 奥友 雄大

新クラスになってから3カ月が経ち、最初は静かだったクラスも大分にぎやかになってきました。クラスに慣れて多少騒がしくなりつつありますが、クラス全員が過ごしやすいと思えるクラスを作っていくように頑張っていきたいと思っています。

### 4組 柚木と48人 ―そして青春を―

級長 後藤 更紗

48人のクラスメートと先生を合わせた49人でできた4組というクラスで、残りの高校生活2年間を共に「一致団結」し、「青春を謳歌」しようという意味を込めてこの目標を掲げました。卒業までの2年間、4組のペースで青春を駆け抜けていきましょう!

### 5組 あつい つよい やさしい クラス

級長 山崎 敦也

5組のクラス目標は「あつや」です。「熱く・強く・優しく」の頭文字をとっています。また、級長の名前であることから、級長を中心に日頃からクラス全員が、熱く・強く・優しくがあるようなクラスにしたいという思いが込められています。

### 6組 新骨頂

級長 長尾 優祐

この目標にした理由は、本来持っているものと新しいものを手に入れることがこのクラスに必要なと思ったからです。卒業する時にはクラス全員が「このクラスでよかった」と言える、そんなクラスにするために、クラス全員で目標に向かっていきたいです。

### 7組 スーパー高校生になる

級長 石橋 光

この目標は、中だるみの学年と言われてしまう2学年の今の時期でも、勉強・部活動・生活面と全ての高校生活にかかわることをやり抜いて、他の人とは違う「スーパー」な高校生になる! というクラス全体の気持ちを表現しました。

### 8組 ガチ本気。～常に笑顔で全力で～

級長 二木 桜子

私たち8組は、何事にも常に本気で取り組もうという思いでこの目標に決めました。この目標のように何事にも全力で取り組んでいますが、なかなか結果は出せません。このクラスの明るさで乗り越えていきたいと思っています。

### 9組 やきにくいこう

級長 加藤 涼介

僕たちのクラスは「やさしく、きくぱり、にねんかん、くらすで、いっしょに、こうこうせいらしく、うたってあるこう」の頭文字を取った「やきにくいこう」です。明るい9組なら必ず達成できる目標だと思います。2年間頑張っていきたいと思います!

### 10組 One for all all for one 42人42色の個性

級長 松下 啓樹

10組は一人ひとりの個性が強く、さまざまな考え方が入り交じったクラスです。そのため、各個人が向かう先もさまざまです。このようなことを踏まえて、相手のことを理解し、相手の考え方を尊重することが大切だと考え、この目標にしました。



# 学年だより 高3

## 学年目標



「莫妄想」の字は、9組 島優香里さん、8組 岸本結衣さんに揮毫してもらい、各クラスに掲示してあります。(写真は島さんの作)

### 学年委員長 8組 村上 綾香

高校3学年の今年度の目標は「莫妄想」です。読み方は「まくもうそう」と読みます。言葉の意味としては、「決めつけずとらわれず、今できることをする」です。漢文読みをすると、「妄想する莫れ」となります。ここでの「妄想」は邪念や迷心、欲のこことを表します。また「莫」は「なかれ」と読み、禁止を表します。つまり、全身全霊を挙げて一心不乱にやり抜けということです。

この言葉に関する中国の禅僧・無業和尚という人物がいます。唐代の人物で、日本では奈良時代後期から平安時代前期頃の方です。無業和尚は一生誰かが訪ねてきても、莫妄想の心で押し通したといわれています。どうなるかわからないことを思い悩んでも仕方がない。それよりは、今できることをしていこうという姿勢だったそうです。

この言葉の意味や、無業和尚の逸話を受けて、私たちは「過去の失敗を恐れず、また未来を恐れず今を精いっぱい生きる」と捉えました。先日、各クラスの級長、副級長にクラスの改善点をあげてもらいました。それらのほとんどが、私たちが少し意識を変えたり、怠けたりしなければ、改善できるものでした。大学生になるための準備として、今一度気を引き締めて、悔いのない高校生活を送るためにこの目標を立てました。学年委員会一同を中心に3学年全員で成長していきたいと思っています。皆様のご協力、応援をよろしくお願いいたします。



右が島さん、左が岸本さん

### 学年副委員長 2組 新井 菜恵

昨年度1年を振り返ってみると、いろいろなことがありました。勉強面では、3年生の4月に行われる基礎学に向けて頑張ってきました。2年時は進路が異なる人たちが、東海大進学を目指す人たちに気を遣う感じでした。逆に今後は、彼らへの配慮が必要になっていきます。自分のことをしっかりすることはもちろんですが、周りの人のことも考えて、気を配れたらいいと思います。

クラス面で見ると、2年生から新しいクラスになり、普段の学校生活や行事等で、絆を深めてきました。昨年1年間ですでに絆は、個人的には1年生の頃よりも深いように感じられます。高校2、3年の2年間で深まる絆はもっと深くなるでしょう。そして、高校卒業後も続いていく仲になれたらいいと思っています。これから残り数カ月、良いクラスに、そして良い学年になれるように、級長として、そして学年副委員長として努力していきます。

### 学年副委員長 10組 安藤 伊織

昨年度の建学祭で、私たち学年委員会は3つのことを行いました。1つ目は剛健旅行で撮影した映像の放映、2つ目は研修旅行での調べ学習、そして3つ目は壁一面に貼られた巨大なモザイクアートの展示です。このモザイクアートは、学年全員で手掛けたものです。研修旅行先で1人5枚ずつの写真を撮り、提出していただきました。お陰様で昨年の級長会のブースはとても好評で、支えてくださった先生方、褒めていただいた保護者の方々には感謝しております。

今年度も、昨年度をさらに超えられるよう、さまざまな案を検討中です。その一つとして、今年度の学年目標を書き出すという試みをしました。これからも、スポーツ大会や建学祭で企画をして、実践できるようにしたいので、楽しみにしてください。そして、卒業時に多くの思い出を作れるようにしていきたいです。



# お知らせ

## 2018 東海カルチャーセミナー

❖日時: 9月1日(土) 13:00~15:10 (12:30受付開始) ❖会場: 本校アリーナ

### 第1部 本校吹奏楽部によるコンサート

指揮: 畠田 貴生  
曲 目: 76本のトロンボーン / 宝島 ほか(予定)

### 第2部 講演会

講 師: 塚田 真希 先生(東海大学体育学部武道学科講師、柔道部(女子)監督)  
テーマ: 「メダルをもたらした魔法の言葉」

## 行事 予定

## July 7月

## September 9月

- 1日(日) 英検①2次試験(中2・3)
- 2日(月) 朝礼 短縮授業
- 3日(火) 校医相談日④
- 7日(土) 付属推薦候補者説明会(高3:~8日)
- 8日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会②(中等部)
- 15日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会①(高校)
- 16日(月) 海の日
- 17日(火) 剛健旅行開会式(7時限)
- 18日(水) 第50回剛健旅行(孺恋高原研修センター周辺:~19日)
- 20日(金) 4時限授業 剛健旅行閉会式;夏期休暇前注意(5時限) 大掃除(6時限)
- 23日(月) 科学体験学習旅行(高1 SSHクラス:~25日)
- 31日(火) 学園オリンピック文化部門[国語、数学、理科、英語、芸術(造形)、知的財産、ディベート](孺恋高原研修センター:~8月5日)

## August 8月

- 6日(月) 学園オリンピックスポーツ大会(湘南校舎:~8日)
- 8日(水) 登校日(中2)
- 9日(木) イングリッシュサマーキャンプ(中2:河口湖、~11日)
- 11日(土) 山の日
- 13日(月) 一斉休暇(~19日)
- 18日(土) 東京都私立学校展進学相談会(東京国際フォーラム:~19日)
- 24日(金) 夏期講習(中等部:~30日)
- 25日(土) 受験生・保護者対象学校説明見学会③(中等部)
- 26日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会②(高校)
- 28日(火) 外部模試(高2)

- 1日(土) 朝礼 / 避難訓練(3時限授業)  
東海カルチャーセミナー  
後援会委員総会②
- 4日(火) 校医相談日⑤
- 11日(火) 生徒自宅学習日
- 12日(水) 専門医によるカウンセリング③
- 13日(木) 生徒による授業評価アンケート②  
生徒による学校評価アンケート①
- 14日(金) 火曜日の授業
- 17日(月) 敬老の日
- 18日(火) 前期期末試験  
(中等部:~20日、高校:~21日)
- 21日(金) 写生大会(中等部)
- 22日(土) 生徒自宅学習日
- 23日(日) 秋分の日  
東海大学オープンキャンパス  
(高2:湘南校舎)
- 24日(月) 振替休日
- 25日(火) 答案返却
- 26日(水) 生徒自宅学習日(~27日)
- 28日(金) 第17回高校体育祭(さいたま総合  
グラウンド、雨天時は授業日)  
授業日(特別時程:中等部)
- 29日(土) 短縮授業  
保護者会②  
保護者による学校評価アンケート

## 編集 後記

トランプ大統領の中止発言から一転、予定通りシンガポールで米朝首脳会談が開かれた。朝鮮戦争で敵国同士だった両国が握手を交わし、歴史的な瞬間に世界のメディアが注目した。史上初となる今回の米朝首脳会談ではあるが、数カ月前まで両首脳は「ロケットマン」やら「狂った老いぼれ」など非難の応酬を繰り返していた。また、昨年8月には北朝鮮がミサイルを発射、突然番組が中断してJアラートが発令された。目まぐるしく世界情勢が変化している。今後、朝鮮半島の非核化、日本人拉致問題の解決につながることを願いたい。(ほ)